

【記載例 3－3】家屋と土地等の居住用割合が異なるとき

設 例

	(家屋)	(土地等)	
居住開始年月日	平成 19 年 11 月 20 日		
取得対価の額	15,000,000 円	20,000,000 円	
総床面積又は総面積	70 m ²	150 m ²	
居住用部分の床面積又は面積	70 m ²	75 m ²	
居住用割合	100%	50%	
	(住宅のみ)	(土地等のみ)	(住宅及び土地等)
新築又は購入に係る住宅借入金等の年末残高	10,000,000 円	—	18,000,000 円
※ 共有者なし			

(注) 「住宅及び土地等」に係る住宅借入金等に併せて「住宅のみ」に係る住宅借入金等又は「土地等のみ」に係る住宅借入金等があり、かつ、家屋と土地等の居住用割合が異なる場合には次のように取扱うこととする。

- 家屋と土地等を一括して購入した場合等の記載方法等は、【記載例 3－3－①】によるものとする。
ただし、納税者が【記載例 3－3－②】の記載方法等によることとした場合には、これを認めることとする。
- 土地等の先行取得で土地等の借入れが先にあり、かつ、「住宅及び土地等」に係る住宅借入金等がある場合の記載方法等は、【記載例 3－3－②】によるものとする。
ただし、納税者が【記載例 3－3－①】の記載方法等によることとした場合には、これを認めることとする。